

年度	2018年度	開講部局	グローバルキャリアデザインセンター（大学院共通科目）		
講義コード	85027001	科目区分	専門的教育科目		
授業科目名	イノベーション・マネジメント				
授業科目名 （フリガナ）	イノベーション・マネジメント				
英文授業科目名	Innovation management				
担当教員名	三須 敏幸				
担当教員名 （フリガナ）	ミス トシユキ				
研究室の場所	グローバルキャリアデザインセンター			内線番号	4348
E-mailアドレス	maxmisu@hiroshima-u.ac.jp				
開講キャンパス	東広島	開設期	1年次生 前期 2ターム		
曜日・時限・講義室	(2T) 集中：担当教員の指定による				
授業の方法	講義・演習	授業の方法 【詳細情報】	講義を踏まえたグループワーク、演習		
単位	1	週時間		使用言語	B：日本語・英語
対象学生	博士課程前期/後期学生（分野を問わない）				
学修の段階	5：大学院基礎的レベル				
学問分野(分野)	21：社会人基礎				
学問分野(分科)	03：キャリア教育				
授業のキーワード	イノベーション、プロジェクト、マネジメント、人、協働				
教職専門科目		教科専門科目			
プログラムの中での この授業科目の 位置づけ					
到達度評価の評価項目					
授業の目標・概要等	<p>新たな価値を生み出す（＝イノベーション創出）ためには、新しいアイデアが生まれやすい環境を作るとともに、組織内外の効果的なネットワークを築き、他者と協働していくことが不可欠である。</p> <p>授業では、新たな価値を生み出すために必要なプロジェクト・マネジメントのプロセスについて理解するとともに、その体験をどのように研究活動へ応用するのかについても考える。</p> <p>授業内容は、英国で研究者養成に実績のある非営利団体Vitaeと共同で企画するため、講義は英語で実施する。ただし、日本語によるサポートも行う。</p> <p>なお、人文社会系から理工農系までの幅広い人材が授業で討論しやすいように配慮する。</p>				
授業計画	<p>第1回 プロジェクトを効果的にマネジメントするために 開催日時： 6月29日（金）2-5コマ（3 - 10時限） 10:30-17:50 開催場所： 学生プラザ 4F 多目的室1・2（予定）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・準備と優先順位付け： 研究プロジェクトの戦略的な考え方、予期せぬ出来事への対処など</li> <li>・時間管理： 自分自身の時間管理法、スケジュール管理など</li> <li>・プロジェクト管理： 目標やマイルストーンの設定、管理サイクル、テクニックとツールなど</li> <li>・リスク管理： 研究プロジェクトのリスク分析、リスクの特定など</li> <li>・財務管理： 基本的な考え方、研究プロジェクト予算のモニタリングなど</li> </ul> <p>第2回 他者を巻き込みながら、新たな価値を生み出すために 開催日時： 6月30日（土）2-5コマ（3 - 10時限） 10:30-17:50 開催場所： 学生プラザ 4F 多目的室1・2（予定）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・活用できるリソース： 資源の創造的な活用、人的ネットワークなど</li> <li>・影響力とリーダーシップ： 研究プロジェクトのリード、利害関係者との関わり方など</li> <li>・課題解決： 多様な研究課題に対する解決のアプローチなど</li> <li>・イノベーション： イノベーションの役割、批判的思考力、想像力など</li> </ul>				
教科書・参考書等	授業中に講義資料および参考資料を例示、配布する。				
授業で使用する メディア・機器等	テキスト、配付資料、音声教材、映像（ビデオ/PC/その他画像資料）				
予習・復習への アドバイス	事前に身の回りの研究活動におけるマネジメントがどのように行われているか、研究室内外の異なる知識・技術・専門性などがどのように結びついているのか、観察しておいて下さい。				

履修上の注意 受講条件等	各回でランチ休憩50分を予定している。可能な限り、弁当等を持参すること。 積極的に議論に参加し、他者を尊重すること。 (20名)
成績評価の基準等	授業や討議への参加姿勢(20%)、自己評価レポート(40%)、最終レポート(40%)に基づき総合的に評価する。
メッセージ	積極的に授業に参加し、自らの意見を示し、異なる考え方を理解する姿勢が必須である。 なお、諸事情により開催時間や会場などが変更になる場合もある。
その他	内容としては、博士課程後期学生等若手研究者のレベルにも対応している。
すべての授業科目において、授業改善アンケートを実施していますので、回答に協力してください。 回答に対しては教員からコメントを入力しており、今後の改善につなげていきます。	